

長期インターンシップを兼ねた産学連携プロジェクトでのアイデア創出過程について

サントリーシステムテクノロジーとの取り組み その2

大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部
西野 真崇*1, 平松 響*1, 森 達郎*1, 横山 広充*2

概要：

長期インターンシップを組み込んだ、企業からの課題を解決する新しい産学連携取り組みについて、最終的なソリューションまでの過程を報告する。

チームビルディング：

2017 年度第1回 RD クラブ・サントリーシステムテクノロジー班に参加した3名(当時1年生)がサントリーシステムテクノロジーの長期インターンとファシリテーターを兼ねての本年度のRDクラブに参加した。ファシリテーターはシステムデザイン工学科3年生3名、所属研究室はバイオメタリックロボティクス研究室2名とナチュラルインタラクション研究室1名である。1年生の参加者はロボット工学科2名、システムデザイン工学科1名の計3名であった。

スケジュール：

5月下旬に担当教員からインターンシップの案内があり、参加申し込み後6月初旬に1・2年生向けのキックオフ集会在実施された。キックオフ集会上はサントリーシステムテクノロジー(以下SSTと略す)社員からの課題説明などが行われた。その後、チームビルディングが実施され毎週火曜日に担当教員を入れず、3年生主導でワークを進めた。7月後半から定期的にSST大阪オフィスにて進捗報告会を実施し、SSTよりアドバイスを得た。夏休み中にはSST社員の案内で工場見学会なども実施した。学園祭にて他のRDクラブのプロジェクトと合同でそれぞれの企業担当者を招待した成果発表会が実施された。詳細なスケジュールを下に示す。

- 6月11日 キックオフ
- 7月30日 SST大阪オフィスにて第1回進捗報告会
- 9月10日 SST大阪オフィスにて第2回進捗報告会
- 9月12日 サントリー工場見学
- 10月3日 SST大阪オフィスにて第3回進捗報告会
- 11月2日 学園祭にてこれまでの成果発表
- 11月28日 SST幹部に最終プレゼンテーション(予定)

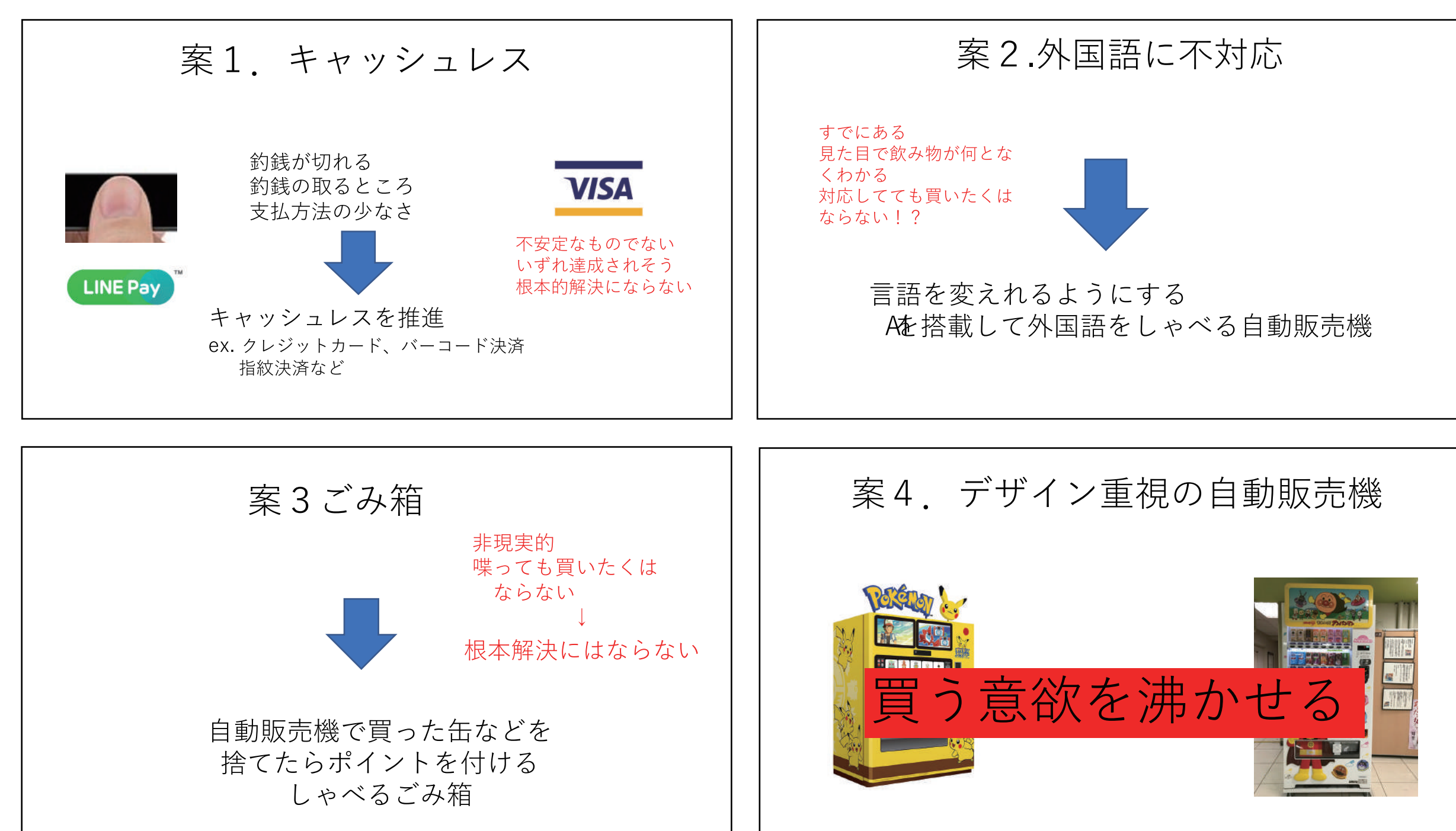


Fig. 1 アイデア創出の過程

アイデア創出：

キックオフから夏休みの期間に集中的にデザイン思考のツールを用いてキーワードの抽出をおこなった。結果、抽出したキーワードはキャッシュレス、外国語対応、ゴミ箱、デザインの4つであった。その後、各キーワードについてアイデアを出し合いそれぞれのアイデアをブラッシュアップしていった(Fig.1)。最終的にデザインというキーワードから導き出したアイデアに収斂し、デザインをベースに今日的なトレンドであるAIやSNSを加味したアイデアをチーム内で出し合った。

プロトタイピング：

アイデア創出からえた、ソリューションをどのようにプレゼンテーションするかを検討し、AIによるSNS投稿の画面のフラフィックデザイン制作とそれを組み合わせたムービー(Fig.2)制作に焦点を当て、プロトタイピングをおこなった。

プレゼンテーション：

学園祭の成果報告会用に5分間のプレゼンテーションとポスター制作をおこなった。プレゼンテーションの様子と掲示したポスターの写真をFig.3に示す。

今後の課題：

今回、教員でなく3年生である自分たちが1年生をファシリテートして、課題解決をおこない、さらに企業インターンシップとして企業とやり取りできたことは、大きな経験となった。しかしながら、スケジュールリングや情報共有方法の問題、そしてデザイン思考に代表される課題解決手法の理解度の低さなどの課題も浮き彫りとなった。

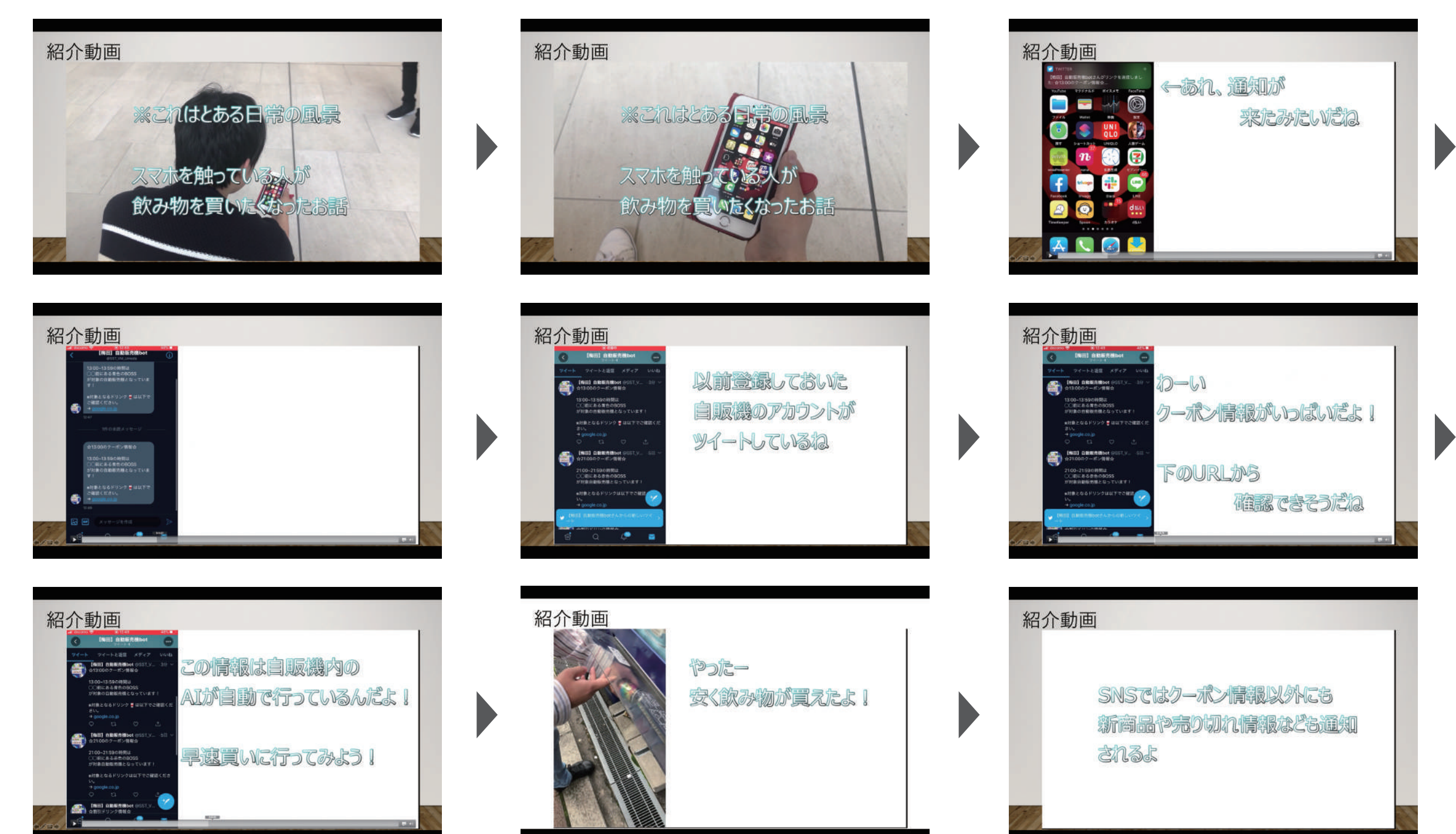


Fig. 2 プロトタイピングしたムービー(抜粋)



Fig. 3 学園祭での成果発表会の様子と掲示したポスター